

陳 情 文 書 表

平 2 3 陳 情 第 1 4 号	平成 2 3 年 9 月 2 1 日 受 理
件 名	食品放射線量測定器の購入と食品の放射線量測定及び測定値の公表を求める陳情
陳 情 者	秦野市洪沢 2 0 9 8 番地 丹沢・未来プロジェクト 代表 栗原 孝司
陳 情 の 原 文	
<p>陳情趣旨</p> <p>福島第1原子力発電所事故後、日本各地で食品の放射線量が問題になっている状況の中、市民の間でも、市内に流通する食品・農畜産物の安全性に対する不安が広がっています。</p> <p>市では県によるサンプリング検査に依存していますが、検査される産地や品目が限られており、きめ細かい検査内容とは言えません。</p> <p>また、食品の放射線量測定機関は混雑しており、外部委託すると時間的に流通・消費のスピードが間に合わない上、県のサンプリング検査同様、検査内容が非常に限られてしまうことから、市民は、安心して食品・農畜産物を購入・消費することができない状況が続いています。</p> <p>したがって、市民、特に放射能に対する感受性の強い子供たちの健康と生命を守るため、次の事項について陳情いたします。</p> <p>陳情事項</p> <ol style="list-style-type: none">1 食品放射線量測定器を購入すること。2 市内で流通する食品・農畜産物（少なくとも保育園・幼稚園・小学校の給食等で使用される食品）の放射線量を継続的に測定すること。3 市民に対して、測定した放射線量を迅速に公表すること。4 市民が持ち寄った食品等の検査に応じられるような体制を検討すること。	